

指定管理者からの令和7年度事業報告概要

施設名	岡山県立青少年農林文化センター三徳園
施設所在地	岡山市東区竹原505

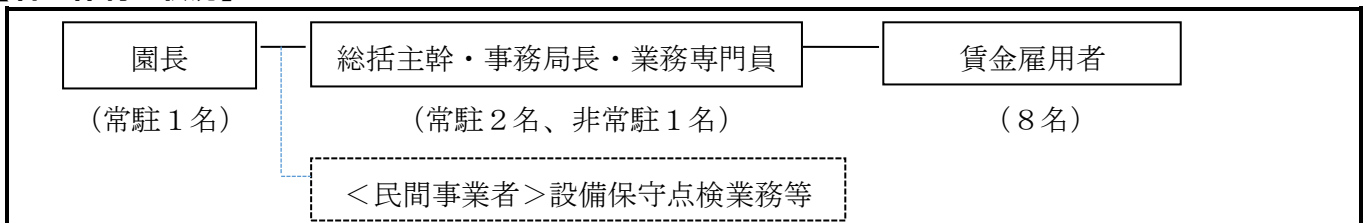
【指定管理者の概要】

名 称	公益財団法人岡山県農林漁業担い手育成財団	代表者	理事長 森下 慎
所在地	岡山市中区古京町一丁目7番36号		

【指定管理の概要】

指定期間	令和4年4月1日～令和9年3月31日	報告期間	令和7年4月1日～令和8年3月31日
管理業務の内容	・三徳園の施設及び設備の維持管理に関すること。 ・三徳園の施設の利用等の許可に関すること。 ・三徳園の運営に関すること。		

【管理体制の状況】



【利用等の許可の状況】

(単位：件)

		研修施設		合 計
許可件数	7年度	167		167
	6年度	172		172
	増 減	△5		△5

【維持管理の業務の実施の状況】

項 目	内 容
施設、設備の維持管理業務の実施状況	・研修交流館、矢野講堂及び矢野館の維持管理 ・施設、設備、農業機械重機の修繕・保守点検 ・栽培展示園等の管理 ・園内修景管理 ・清掃・ごみ処理 等
施設、設備の利用状況	来園者数：176,390人、研修施設利用者数：4,679人 ・ホリデイ就農ゼミ (8回 のべ173人) ・農福連携指導者研修 (9回 のべ44人) ・おためし農福 (3回 のべ34人) 等
自主企画事業の実施状況	計23回実施 ・園児向け体験教室 (82人) ・職場体験学習受入 (中学生8人) ・サポーター園内清掃活動 (12回) ・展示即売会 等

【利用料金の収入及び減免の状況等】

(単位：円、件)

	研修施設		合 計
収入額	467,840		467,840
利用件数	167		167
減 免 額	958,930		958,930
減免理由	・県事業、県補助事業及び委託事業での利用のため。 ・三徳園友の会の三徳園の自主企画（即売会等）への協力及び奉仕活動（草刈等）利用のため。		

指定管理者からの令和7年度事業報告概要

【管理に係る収支の状況】

(単位：円)

		7 年度	対前年度増減額	6 年度	備 考
収 入 額 A		34,709,798	840,933	33,868,865	7 年度収入額 ・指定管理料のうち賃金及び物価の上昇に応じた増額分 1,690,369円 ※R6比+756,736円 (財源は全額国庫) ・その他の主なもの 農福連携研修事業受託料 1,134,000円
内 訳	指定管理料	28,652,369	756,736	27,895,633	
	利用料金収入	467,840	45,670	422,170	
	事業収入	4,288,755	26,512	4,262,243	
	その他	1,300,834	12,015	1,288,819	
支 出 額 B		35,155,428	910,148	34,245,280	
内 訳	人件費	21,570,712	△186,005	21,756,717	
	管理運営費	13,584,716	1,096,153	12,488,563	
	事業費	0	0	0	
	その他	0	0	0	
収 支 額 A－B		△445,630	△69,215	△376,415	
県への納入金		—	—	—	
実質的な県負担額		26,962,000	0	26,962,000	

【特記事項（管理運営業務の実施状況の点検結果）】

点検項目		区分	特記事項（評価すべき点・改善すべき点）
管理 運 営 状 況	①適切な施設管理の履行	B	事業計画に沿った適切な管理が履行されていた。
	②法令等の遵守状況	B	関係法令等に基づく義務は適切に履行されていた。
	③安全性の確保	B	危機管理マニュアルを徹底し安全性の確保に努めていた。開園前の巡回点検等で、危険性を確認された場合は立入禁止や危険箇所表示を行うなど、来園者の安全確保を最優先にした管理が適切に行われていた。 感染症拡大防止のため、引き続きアルコール消毒液の設置等が実施されていた。
	④財産の適切な管理	B	建物・施設等の適切な保守管理がなされていた。
導 入 効 果	① 利用状況	B	猛暑等の影響により利用者が微減したと考えられる。 施設の利用は県の研修が中心であるが、安全に活用できるよう配慮されていた。 〔総入園者数〕 R 7：176,390人 ← R 6：179,730人
	② 収支状況	B	猛暑等の影響がある中でも農産物販売額は昨年度に比べやや増加した。物価高騰等の影響で管理運営費が増加したが、効率的な運営により収支は昨年度と同程度のマイナスとなった。
	③サービス向上	B	施設の管理状況について来園者の満足度は高く、展示即売会をはじめ自主企画事業を実施するなどサービス向上に努めていた。
管理運営業務全般		B	協定書や計画書に基づく適切な管理がなされるとともに、展示即売会や農福連携事業など、自主的な取組がなされていた。

※「区分」欄は、点検結果の区分。区分の内容は次のとおり

A：予定していた業務水準を上回った。

B：予定していた業務水準を概ね実施した。

C：予定していた業務水準の一部が実施できなかった。 D：予定していた業務水準を下回った。